

これからご両親になる方への重要なお知らせ

今日の決断が赤ちゃんの将来を左右します

出産が近くなり、素晴らしい計画がたくさんあることでしょう。一方で、さまざまな重要な決断をする必要があります。California Newborn Hearing Screening Program (カリフォルニア州新生児聴覚スクリーニング・プログラム、NHSP) への参加が承認された病院で出産されるかもしれません。その場合、退院前に赤ちゃんの聴力検査を受けることができます。

難聴は見てわからない場合があるため、赤ちゃんの聴力検査を行うというご両親の決断が重要になります。現在では、技術の発達により、生後間もない赤ちゃんのうちに難聴を発見することが可能になっています。

子供が生まれてから最初の数ヶ月間から数年間は、コミュニケーション能力の発達に非常に重要な時期です。難聴や聾の赤ちゃんは、正常な言語能力の発達が困難であったり、学校で授業についていくのが難しかったりすることがあります。このため、難聴を早く発見し、赤ちゃんとご家族に特別なサービスを提供することが重要です。

米国小児科学会をはじめとする専門機関は、すべての新生児に聴力検査を行うことを推奨しており、幼児期を通じて子どもの聴力を注意深く観察することを奨励しています。

難聴の赤ちゃんの割合

重度な難聴は、赤ちゃん1,000人中2~4人に見られます。難聴の赤ちゃんの約50%は、既知の徴候や、重大な病気や難聴の家族歴などの危険因子がありません。耳の感染症、髄膜炎、頭部外傷、その他の病気が原因で後の段階で難聴になる赤ちゃんもいます。不明な理由で赤ちゃんが聴力を失うこともあります。

聴力検査の方法

新生児聴覚スクリーニング検査は、お母様と赤ちゃんが退院する前に行われます。検査は赤ちゃんが眠っている間にわずか数分で完了します。赤ちゃん専用のイヤホンから小さな音を流し、音に対する赤ちゃんの反応を耳音響放射 (OAE) または聴性脳幹反応 (ABR) によって自動的に測定します。検査結果は退院前にお知らせいたします。現在のスクリーニング方法は簡単ですが非常に信頼性が高いものです。赤ちゃんの聴覚障害が見落とされることはめったにありません。

聴力検査の費用負担

新生児聴覚スクリーニングには、一般的には保険が適用されます。Medi-Calにより、対象となる赤ちゃんのスクリーニング費用は負担されます。



California Newborn Hearing Screening Programとは

カリフォルニア州医療サービス局（DHCS）小児医療サービス（CMS）は、州全体で Newborn Hearing Screening Programを実施しています。このプログラムでは乳幼児の難聴を発見し、コミュニケーション能力の発達に必要な適切なサービスをご家族に紹介しています。

カリフォルニア州のNewborn Hearing Screening Programの目標は、難聴の赤ちゃんを特定し、生後6ヶ月までにサービスを提供することです。プログラムではHearing Coordination Centerと連携しており、ご家族、医療提供者、病院と協力して、子どもたちが必要なサービスを受けられるように支援しています。

Newborn Hearing Screening Programでは、衛生安全条例第124119条に基づき、赤ちゃんの聴覚スクリーニングに関する情報を収集しています。Hearing Coordination Centerは、ご両親と赤ちゃんが必要なサービスを受けられるよう、この情報を利用することができます。また、Hearing Coordination Centerから追跡サービスに関してご連絡させていただく可能性があります。

Newborn Hearing Screening Programに関するご質問や詳細については、以下を参照してください。

- » 無料ダイヤル：1-877-388-5301
- » または www.dhcs.ca.gov/services/nhsp をご覧ください。

